

平成30年度 第3回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 平成31年2月14日（木） 午後2時00分から午後4時00分まで
2. 開催場所 甲賀市役所別館1階 会議室101
3. 議 題 ①平成30年度甲賀市下水道事業会計決算見込について
②平成31年度甲賀市下水道事業会計予算案について
③平成31年度甲賀市一般会計（浄化槽関係）予算案について
④使用料改定について
4. その他 下水道計画について
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 出席者
委 員 森村委員、木村委員、福井委員、山川委員、松下委員、黒田委員、
大林委員、福田委員、奥田委員 以上9名

事務局 上下水道部 小嶋部長、立岡次長
下水道課 樋口課長、西田参事
上下水道総務課 大谷課長、北村課長補佐、西村課長補佐、
岡崎係長、中辻係長
7. 傍聴者数 0人
8. 会議資料 別紙のとおり
9. 議事の概要 別紙のとおり

○出席委員数の報告

出席委員は9名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

○協議

事務局 (① 平成30年度甲賀市下水道事業会計決算見込について、資料1に基づき説明。)

(質疑)

委員 お客様センターは何年に開設したのか。

事務局 平成25年の10月からで、3カ年の契約です。現在の契約は平成31年の9月までで、2回目も業者は同じです。

委員 収納率のアップはその効果と考えられるか。

事務局 滞納者に即した対応ができるよう連携を密にとり、きめ細やかな対応を行っています。

また、水口庁舎に移り、お客様の来庁人数が3倍ぐらいに増えています。納付相談やお客様対応という部分では、サービスの向上につながっており、最終的に収納率アップに反映されているものと解釈しています。

委員 雨水に関する予算をどうして下水道事業が持っているのか。

事務局 下水道計画のなかに汚水処理と雨水処理がありますので、下水道事業で予算を計上しています。実際の工事は建設部の建設事業課で行います。またその後の管理については、同じ建設部にあります建設管理課で行います。下水道課では企画、立案、予算計上、財産の管理をしています。

大津市では公共汚水と雨水を一緒に処理しています。甲賀市の場合は、汚水は汚水の処理、雨水は雨水で集めて河川に放流するという分流式です。

委員 そうすると雨水の管理等に関する費用は、一般から徴収した下水道料金で賄っていくということになるのか。

事務局 いいえ。徴収した下水道使用料を雨水に投入することはありません。管理費用は一般会計で対応していきます。

委員 資料2ページの上の汚水量だが、平成29年度に比べ30年度の見込みが大きくあがっているような気がするが、何か要因があるのか。

事務局 このグラフですと、平成27年度から平成28年度はあがって、一旦平成29年度は下がって、平成30年度はあがっています。

公共下水道の使用量の算定は水道の使用量に応じて算定していますが、平成29年1月に大雪で検針業務が遅れ、1使用期間が長くなったということがありました。通常の期間で検針が行われていれば平成29年度の汚水量となるところが平成28年度の汚水量となり、収益においても平成28年度が多くなり、逆に平成29年度は少なくなりました。このようなことがなければ長期的にみて右肩上がりになる傾向かと分析しています。

毎年度新しく下水道に接続される世帯は約500件で、まだ普及率も伸びる要素があります。農業集落排水については朝宮で接続がありますので若干増えている状況です。

委員 収納率が85%くらいで、残り15%がどうしても収納してもらえないということかと思うが、何か理由があるのか。この15%は同じ人が納めていないのか。上水道なら給水停止すれば良いが、下水道は止められない。何か

100%になるような対策は講じているのか。

事務局 企業会計になり、3月31日時点での収納率になります。平成29年度末時点は84.65%ですが、一般会計（特別会計）の5月末の出納閉鎖時点でみると、99.31%まで上がっています。

納付方法では、約90%弱が口座振替をご利用いただいているという状況で、実際に市へ現金が入ってくるのが4月上旬となるので、その分が決算上反映されていないということです。実情としては、90%を超える収納率です。滞納対策としましては、最終的には財産の差押えも行います。

委員 未納の15%分というのは3月末の口座振替分が大半を占めていて、実際の未収となっている分はほんの一部なのか。

事務局 そうです。

委員 公共下水と農業集落排水とは引き落としの月は違うのでは。

事務局 同じ月となります。

事務局 (② 平成31年度甲賀市下水道事業会計予算(案)について、資料2に基づき説明。)

(質疑)

委員 下水道が普及してきているが、下水道のしくみ等を子供達に理解してもらうため、学校での授業等を考えているのか。

また、取り替えたマンホールは捨ててしまうのか。販売している自治体もある。そういうのも一つの収益であるし、マンホールカードやマンホールを売るということで、下水に対する知識や関心を持ってもらえるような計らいを考えておられるのか。

事務局 小学生には出前講座ということで、希望のある学校に対して、下水道のしくみについて説明の場を設けさせていただいています。今年度は佐山小学校で説明を行いました。

マンホール蓋の鉄の部分は有価物で、スクラップの単価を掛けて設計額から引いて発注を行っています。甲賀市ではマンホール蓋を売るということは、今は考えておりません。

委員 公共下水と農排をくらべると、汚水量は農排が全体の1割ぐらいだが、維持費等は高いように思う。順次公共下水につないでいくという計画があるようだが、予定どおり進んでいるのか。早められるのか、遅くなるのかどうか。

事務局 現在貴生川地区の接続を進めています。新年度では2番目に飯道寺地区を予定しており、工事は平成34年度の予定です。引き続き今郷地区、宮地区と公共エリアに近い部分でつないでいくことになると思いますが、今後の状況を見極めながら進めていきたいと思っています。

委員 最近、地震、災害等で下水管の色々な問題が出てきている。甲賀市の場合古いところについて災害の対応をする考えは特にあるのか。

事務局 平成12年以降は大きさによって地震に対応した管材を使っていますが、それ以前はそこまでのものは無いのではないかと思います。一般的に管材は50年が耐用年数ですが、下水道ストックマネジメント計画により今後調査をして、補強等の対応が必要なところがでてくるかとは思っています。

委員 設計上大体50年か。

事務局 そうです。

委員 甲南の希望ヶ丘はだいぶ老朽化しているのか。

事務局 希望ヶ丘につきましては元々市が整備したものではなく、民間の開発業者が昭和50年前後に造成されたものを甲賀市が引き取ったというものです。40年程過ぎておりますので、マンホールの蓋も古くなっているので順次取り替えています。管の方についてもかなり不都合な部分もございますので、補強したり、バイパス管を作ったりというのを合わせて行っております。

委員 管は農排も公共下水も同じ耐用年数なのか。

事務局 塩ビ管は50年ですが、管種、管材によって違います。

委員 災害時、上水はタンク車で運んできたら水はもらえるが、下水のほうはあまりするところがないかと思う。市役所には貯留槽がいくつか用意してあるが、指定されている各避難所にも、今後徐々にそういうトイレ等ができるような予算を考えながら進めていただきたい。

事務局 災害用マンホールトイレですが、下水道の予算で作ることができないため、施設を作る側で行っていただくよう案内はさせていただいております。古い施設についても順次一定の予算を確保して施設管理者で対応を行っていただけるよう働きかけていきます。

事務局 下水道事業会計のなかでは市の各施設における整備費は計上できませんが、市全体としてそういう御意見もあるということはお話させていただいております。

委員 農業集落排水の使用料が平成30年度決算見込みで1億3,007万4千円、平成31年度予算では1億2,700万円となっていて、前年度対比400万円ほど減にするとされているが、見込み的に通常であれば少なくとも1億2,700万円よりも数百万円プラスしてもよいのかと思うが、それをあえて前年度対比で400万円ほど減にしているということの原因としては、農業集落排水の人口が減になっているということに憂慮しているということか。

事務局 そうです。前年度予算比400万円減ですが、平成30年度決算見込みは1億3,000万円で、実質は300万円ぐらいの減を見込んでいるわけで、朝宮の接続世帯は増えていても、農業集落排水世帯の人数が減っており、1件あたりの使用水量は減っていますので減収の見込みです。

事務局 (③ 平成31年度甲賀市一般会計(浄化槽関係)予算案について、資料2に基づき説明。)

(質疑)

委員 (資料2の)5の下水道対象区域外というのはどの辺か。

事務局 面的取り組みを行っていただいていないところが対象になってきますので、面的取組み前に浄化槽の設置を希望された場合や、水口ですと、幸ヶ平地先。公共下水道、農業集落排水もいかないというエリアです。この地域でも面的に取り組んでいただけか、取り組んでいただけないかによって補助金が変わってきます。

委員 (資料2の)2の浄化槽設置整備事業補助金の住宅用55基の単価はあるのか。

事務局 予算は7人槽で41万4千円です。5人槽では33万2千円。10人槽では54万8千円の補助です。

委員 あくまで合併(浄化槽)か。

事務局 はい。そうです。

事務局 (④ 使用料改定について、資料3に基づき説明。)

(質疑)

(質問、意見無し。)

事務局 (次第3その他 下水道計画について説明)

(報告のみ)

○会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の、会議内容の公開、非公開についてであります。冒頭にも申し上げましたが、当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の資料には個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれてございませんので、全て公開とし、前回同様、議事録での発言者は個人名でなく、委員として公開させていただきます。

○追加質疑

委員 昨年7月の段階で、消費税アップの条例改正を12月本会議に上程予定との資料をもらっているが、12月にはあがっていなかったと思う。今後の見通しを教えてください。

事務局 この後の3月議会で上程予定となります。上下水道関係だけでなく、他の部署でも同様の事案がありますので、総務課での一括上程という流れになっています。ご説明が遅れ申し訳ございません。